

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

| | | | | | | | |
|------------------|-----|---------------|--|----|--|----|------------------------|
| 開発行為を行おうとする土地の区域 | | 土地の所在 (地番) | 天竜区春野町豊岡 391-2 他筆 | 地目 | 山林 | 面積 | 31564.7 m ² |
| 工事中又は工事後の別 | 工種 | 環境要素 | 影響予測 | | 影響に対する対策 | | |
| 工事中・工事後 | 土工 | ②、⑦ | 掘削土により、災害時の土砂の流出や法面の崩落の可能性がある。 | | 傾斜地における掘削においては、大型土のう等に掘削土を入れ、流出防止を図る。工事完了後は、原形復旧を基本とする。また、法面が崩壊する恐れがある箇所については、法面保護（植林、二次製品）について検討する。 | | |
| 工事中・工事後 | 伐採工 | ④、⑦、⑧ | 伐採により水源涵養機能が低下するため、地下水の減少、豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。 | | 伐採後は植林を行う。なお、樹種については、今後地権者と協議する。 | | |

(注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。